

もうすぐ九博開館 10 周年

博多伝統芸能 博多芸妓の世界

九州国立博物館 ミュージアムホール

平成 27 年

2月20日(金)

11:30～ 参道お練り・天満宮参拝

13:00～ 公演 第1部

13:20～ ミニ解説

13:30～ 公演 第2部

入場
無料

太宰府天満宮は、約 200 種、約 6,000 本の白梅・紅梅を有する日本有数の梅の名所で、御神木「飛梅（とびうめ）」の開花に始まり3月中旬頃まで、一重、八重をはじめいろいろな種類の梅が見事に咲き、境内は芳しい梅の香りに包まれます。

梅の花満開のこの季節に、博多伝統芸能を引き継ぐ「博多芸妓」衆が、太宰府参道～天満宮～博物館と練り歩き、九州国立博物館のホールで粋で艶やかな舞いを披露いたします。



< 出し物 >

第一部

1. 初春
2. 博多節
3. 投げ節
4. どんたくさわぎ

第二部

1. 春風がそよそよと
2. 黒田節
3. 博多小女郎
4. カッチリ節
5. 祝い目出度

< 立ち方 > (踊り)

こまこ、小桃、桜子、よし花、和可奈

< 地方 > (三味線)

つかさ、はと奴、愛佳、綾子

◆ 博多芸妓・券番の歴史

博多に芸妓が登場したのは江戸時代の中頃以降と言われ、明治になってから、芸妓の取り次ぎや花代といわれる出演料の清算などを行う事務所（券番）ができました。

空前の好景気に沸く大正時代には5つの券番が存在し、博多の芸妓は、おおらかできつぷがいいとの評判で世に知られました。

戦時体制で消滅後、戦後復活して、昭和 60 年に全ての券番が一つにまとまり、博多券番となり現在に至っています。



主催 公益財団法人 九州国立博物館振興財団
共催 九州国立博物館、博多伝統芸能振興会、太宰府天満宮、太宰府観光協会
問合せ先 公益財団法人 九州国立博物館振興財団
TEL:092-918-2160 E-mail:zaidan@kyukoku.or.jp
※ 雨天等の場合は内容が変更になる場合があります。